

# 令和5年度 文教警察委員会 県内所管事務調査の概要

令和5年10月24日(火)

## ◆調査箇所：大分県立大分支援学校（大分市志村）

<概要>

同校は、県内の特別支援学校において最多となる293名の児童生徒が在籍する大規模校である。同校では、主体的な学びに向けた授業実践や、学びの連続性を確保する教育課程の改善など四つの重点目標を掲げ、学習の中で児童生徒が自ら考え判断し、行動することを実感できる授業の実施・改善や、小学部から高等部で一貫した指導を行うための年間指導計画の改善等に取り組んでいる。

今回は、児童生徒数の推移、入学者選抜状況、高等部卒業後の進路等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・スクールサポートスタッフの活用について
- ・スクールバスの利用台数について
- ・医療的ケア児の在籍数及び登校状況について



## ◆調査箇所：大分県立新生支援学校（大分市玉沢）

<概要>

同校は、特別支援学校としては大分支援学校に次ぐ大規模校であり、現在271名の児童生徒が在籍している。同校では、自ら考え表現する児童生徒になることを目指し、丁寧で分かりやすい発問、提示方法による指導を心がけるとともに、学んだ知識や技能を今後、学校や社会生活などでいかすことができるよう、日々の学習を通じた児童生徒の育成に努めている。

今回は、沿革、教育目標、児童生徒数等の概要、入学者選抜状況、課題等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・教室の不足解消に係る取組について
- ・予算の確保について
- ・ICT機器及びネットワーク環境の整備状況について



## ◆調査箇所：大分県立中央支援学校（大分市東大道）

<概要>

同校は、大分支援学校及び新生支援学校における児童生徒数の増加及び教室不足に対応するため、令和6年4月に新たに開校される特別支援学校であり、小中学部及び高等部が設置される予定である。なお、校舎は旧聾学校跡地を活用することとしており、開校に向けて現在、改修工事が進んでいる。

今回は、現時点における校舎の改修状況を見学するとともに、開校後の運営にあたり想定される課題等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・校舎改修の進捗状況について
- ・職員駐車場について
- ・児童生徒の定員数を超過した際の教室等の確保について

